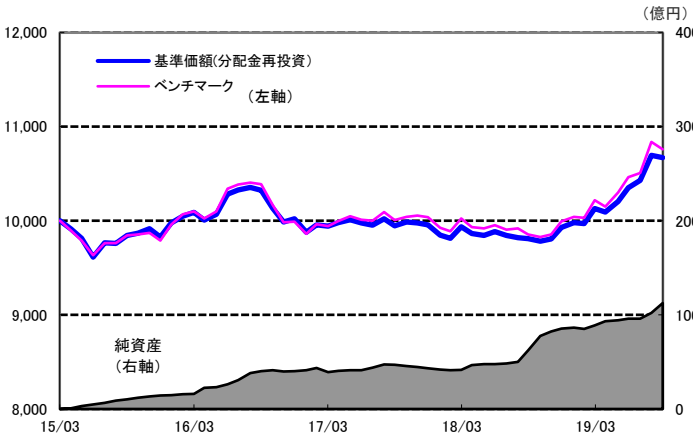


運用実績

2019年9月30日 現在

運用実績の推移

(ベンチマークは設定日 =10,000として指数化;月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 10,673 円

※分配金控除後

純資産総額 112.5 億円

騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1か月	-0.2%	-0.7%
3か月	3.1%	2.8%
6か月	5.4%	5.3%
1年	8.8%	9.2%
3年	3.4%	3.6%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 6.7% 7.6%

設定来累計 0 円

設定来=2015年4月1日以降

左上のグラフのベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジあり・円換算ベース)は、設定日を10,000として指数化しております。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジあり・円換算ベース)は、FTSE Fixed Income LLOが開発したFTSE世界国債インデックス(除く日本)の各国別指数(現地通貨ベース)を用い、委託会社が独自にヘッジコストを考慮して円換算したものです。

資産内容

2019年9月30日 現在

債券通貨別配分

資産	純資産比
アメリカ・ドル建債券	36.6%
ユーロ建債券	29.1%
イギリス・ポンド建債券	9.2%
メキシコ・ペソ建債券	5.6%
オーストラリア・ドル建債券	2.0%
その他の通貨建債券	1.0%
その他の資産	11.2%
合計(※)	-

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。

実質外貨比率 0.0%

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

格付別配分

格付	純資産比
AAA	6.1%
AA	50.3%
A	6.0%
BBB	26.3%
BB	0.0%
-	-
その他の資産	11.2%
合計	100.0%

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当コースが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ポートフォリオ特性値

平均格付	A
平均直利	2.0%
平均最終利回り	1.2%
平均デュレーション	5.9年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したもので、現地通貨建。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。

・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。

・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

組入上位10銘柄

2019年9月30日 現在

銘柄	通貨	純資産比
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	4.8%
BUONI POLIENNALI DEL TES	ユーロ	4.6%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	4.4%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	4.4%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	4.3%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	3.1%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	2.9%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	2.9%
BUONI POLIENNALI DEL TES	ユーロ	2.9%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	2.8%
合計		37.0%

組入銘柄数 : 77 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当コースが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にご帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

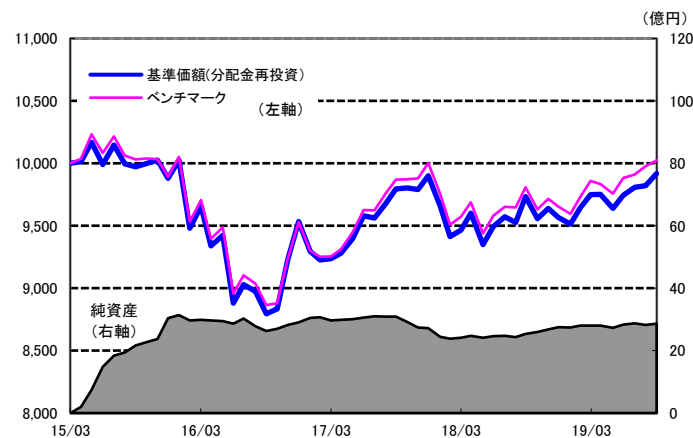
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

運用実績

2019年9月30日 現在

運用実績の推移

(ベンチマークは設定日 = 10,000として指数化;月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 9,918 円

※分配金控除後

純資産総額 28.6 億円

騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1か月	1.0%	0.5%
3か月	1.8%	1.4%
6か月	1.7%	1.7%
1年	1.9%	2.2%
3年	12.8%	13.1%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 -0.8% 0.2%

- 信託設定日 2015年4月1日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則12月6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2018年12月	0 円
2017年12月	0 円
2016年12月	0 円
2015年12月	0 円
-	-

設定来累計 0 円

設定来=2015年4月1日以降

左上のグラフのベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円換算ベース)は、設定日を10,000として指数化しております。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円換算ベース)は、FTSE Fixed Income LLCが開発したFTSE世界国債インデックス(除く日本)の各国別指数(現地通貨ベース)を用い、委託会社が独自に円換算したものです。

資産内容

2019年9月30日 現在

債券通貨別配分	
資産	純資産比
アメリカ・ドル建債券	36.5%
ユーロ建債券	29.1%
イギリス・ポンド建債券	9.2%
メキシコ・ペソ建債券	5.6%
オーストラリア・ドル建債券	2.0%
その他の通貨建債券	1.0%
その他の資産	11.4%
合計(※)	-

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。

実質外貨比率 99.8%

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

格付別配分	
格付	純資産比
AAA	6.1%
AA	50.2%
A	6.0%
BBB	26.3%
BB	0.0%
-	-
その他の資産	11.4%
合計	100.0%

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当コースが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ポートフォリオ特性値	
平均格付	A
平均直利	2.0%
平均最終利回り	1.2%
平均デュレーション	5.9年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものを、現地通貨建。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。

・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。

・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

組入上位10銘柄

2019年9月30日 現在

銘柄	通貨	純資産比
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	4.8%
BUONI POLIENNALI DEL TES	ユーロ	4.5%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	4.4%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	4.4%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	4.3%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	3.1%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	2.9%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	2.9%
BUONI POLIENNALI DEL TES	ユーロ	2.9%
US TREASURY N/B	アメリカ・ドル	2.7%
合計		36.9%

組入銘柄数 : 77 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当コースが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資リスク

各ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.55%(税抜年0.5%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額 (ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社> 三菱UFJ信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

先月の投資環境

債券市場＜債券利回りは米国・ドイツで上昇＞

◆**米国**：米中間で閣僚級の通商交渉が行なわれることが決定し米中貿易摩擦解消に対する期待が高まったことなどから、債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

◆**欧州**：ECB（欧州中央銀行）定例理事会で金融緩和措置の導入が決定されたものの、追加的な金融緩和余地の少なさが市場の一部で意識されたことなどから、ドイツの債券利回りは上昇しました。

為替市場＜円に対して米ドル・ユーロは上昇＞

米中関係の改善期待を受けた市場のリスク回避姿勢後退から、米ドルは円に対して上昇（円安）しました。また、市場のリスク回避姿勢後退からグローバルに債券利回りが上昇する局面ではユーロは円に対していったん上昇（円安）したものの、ユーロ圏の製造業景況感の下落から域内の景気先行きに対する懸念が高まり、月間ではユーロは円に対して小幅な上昇となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○ パフォーマンス ＜月間の基準価額の騰落率は、Aコースは0.22%の下落となり、ベンチマークを0.50ポイント上回りました。Bコースは0.99%の上昇となり、ベンチマークを0.52ポイント上回りました。＞

Aコースでは、世界的に債券利回りが上昇したことから基準価額は下落しました。Bコースでは、米ドルやユーロが円に対して上昇したことから基準価額は上昇しました。ベンチマーク対比では、Aコース、Bコースともに、グローバルに債券利回りが上昇する中で、ポートフォリオのデュレーション(※)をベンチマークに対して短期化としていたことや、オーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めめの投資比率）としていた米ドルがアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めめの投資比率）としていたユーロに対して上昇したことなどがプラスとなりました。

○ 運用経過

ファンド全体のデュレーションについては、前月末の水準から大幅な変更はありませんでした。月末時点のポジションは次の通りです。

◆**デュレーション**：ファンド全体で短め（地域別では米国と欧州を短め）としました。

◆**為替**：米ドルをオーバーウェイト、欧州通貨をアンダーウェイトとしました。

(※) デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。ファンドデュレーションとは、債券デュレーション×債券組入比率で表されます。

今後の運用方針（2019年9月30日 現在）

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

主要投資対象国の今後の投資環境見通しは、次の通りです。

○ 債券

◆**米国**・・・景気先行きに対する懸念から債券利回りは低下（価格は上昇）してきたものの、今後景気回復が持続することで、債券利回りは上昇圧力がかかりやすいと予想します。

◆**欧州**・・・景気減速が続くものの債券利回り低下が一定程度進んできたことから、債券利回りは横ばい、または上昇方向で推移すると予想します。

○ 為替

◆**米ドル・円**・・・日本の高水準の経常黒字が円高要因となり、円は米ドルに対して上昇すると予想します。

◆**米ドル・ユーロ**・・・米国経済が底堅く推移する一方で欧州景気の鈍化が続くことで、ユーロは米ドルに対して下落しやすいと想定します。

今後の方針は次の通りですが、投資環境の変化に対し、柔軟に対応していきます。

ファンドデュレーション・・・全体は短めとし、地域別では米国と欧州を短めとします。

為替・・・米ドルをオーバーウェイト、欧州通貨をアンダーウェイトとします。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村外国債券アクティブファンド Aコース／Bコース(野村SMA・EW向け)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。